

女性とジェンダーの歴史

第4号

2017.3

特 集

国際シンポジウム トランスナショナリズムと女性教育史研究
— ジョイス・グッドマン教授招聘研究セミナーの報告 —

特集にあたって

香川せつ子 (1)

《東京セミナー》

基調講演 女性教育のトランスナショナルな展開と国際的ネットワーク

— イギリス・アメリカ・日本 — ジョイス・グッドマン (3)

(翻訳 中込さやか・内山由理)

コメント(1) 女子教育の国際的ネットワークの歴史化と3つのジレンマ 高橋 裕子 (24)

コメント(2) 女性教育史研究における新しい課題 — トランスナショナリズムと協同的アプローチ — 山崎 洋子 (27)

《京都セミナー》

基調講演 イギリスにおける教育史研究の潮流

— ジェンダー、トランスナショナリズム、エージェンシー — ジョイス・グッドマン (30)

要約と解説 香川せつ子 (30)

コメント(1) 振り返るよりも前を見つめる歴史家 金澤 周作 (36)

コメント(2) 女子教育史研究の可能性 — ミッション史の立場から — 並河 葉子 (38)

学界動向

セクシュアリティ研究の現在

林田 敏子 (41)

研究会の記録

第25回研究会 シンポジウム「女性と動物 — 動物の苦痛への共感から反生体解剖運動へ」

<報告> 川津雅江、小川公代、伊東剛史、三神和子 <コメント> 松永典子、飯島亜衣 (50)

第26回研究会 自由論題報告

<報告> 中込さやか、真保晶子 <コメント> 森本真美、坂口美知子 (57)

書評

田丸理砂著『「女の子」という運動 — ワイマール共和国末期のモダンガール』 犬童 芙紗 (62)

エヴァ・フェーダー・キティ著 (岡野八代・牟田和恵監訳)
『愛の労働 あるいは 依存とケアの正義論』 濵谷 智子 (64)

吉本和弘著
『美しき汚れ — アーサー・マンビーとヴィクトリア朝期女性労働者の表象』 川崎 明子 (66)

佐々井 啓著
『ヴィクトリアン・ダンディ — オスカー・ワイルドの服飾観と「新しい女」』 坂口美知子 (68)

成蹊大学文学部学会編
『ダイナミズムとしてのジェンダー — 歴史から現在を見るこころみ』 水井万里子 (71)

水井万里子・杉浦未樹・伏見岳志・松井洋子編『世界史のなかの女性たち』 古城真由美 (73)

土田陽子著『公立高等女学校にみるジェンダー秩序と階層構造 — 学校・生徒・メディア のダイナミズム』 香川せつ子 (76)

Brown, A. and Barrett, D., *Knowledge of Evil: Child Prostitution and Child Sexual Abuse in Twentieth-Century England* 三時眞貴子 (78)

紹介

Albisetti, J.C., Goodman, J. and Rogers, R. (eds.), *Girls' Secondary Education in the Western World: From the 18th to the 20th Century* 中込さやか (80)

イギリス女性史研究会